

Domestic & Overseas

関係会社での取り組み—国内および海外関係会社

POINT

- ① 国内関連企業部会参画の6社では、CO₂および廃棄物の埋立量ともに削減しました。
- ② (株) 輸送機工業では宇都宮製作所と一体化した環境マネジメントシステム活動をスタートしました。
- ③ カナダのスバル販売会社SCIでは専用トラック配送でCO₂を削減しました。

国内関係会社の活動

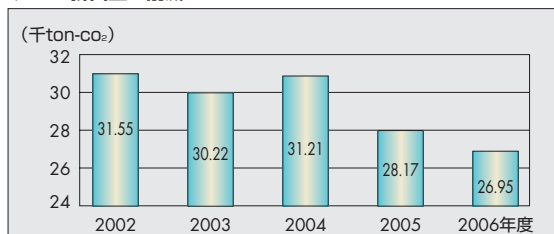
国内関連企業部会参画の6社〔富士ロビン(株)、輸送機工業(株)、富士機械(株)、(株)イチタン、桐生工業(株)、(株)スバルロジスティクス〕の活動についてご紹介します。国内関連会社の活動につきましては、本ページのほか、当社ホームページ上のwebデータ編に詳細を掲載しております。

■環境負荷

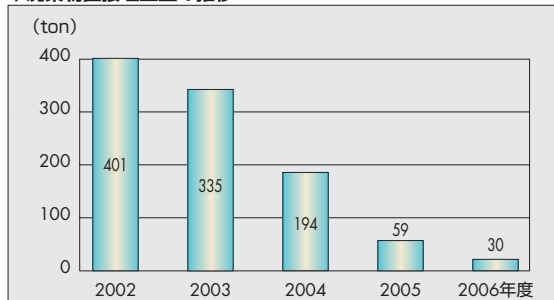
CO₂排出量および廃棄物の埋立量ともに削減

6社合計でCO₂排出量は26.95千tonで 2005年度比4.3%の削減、また廃棄物の直接埋立量は30tonで 2005年度比49%の削減を図ることができました。

◆CO₂排出量の削減



◆廃棄物直接埋立量の推移



(株)イチタンでは廃棄物の分別強化をすすめて、リサイクル可能なものを増やす取り組みにより、埋立量を大幅に削減(約19ton)することができました。CO₂排出量については各社とも「省エネ活動」の徹底を中心に活動をすすめて、6社全てで2005年度より低減することができました。

(株)スバルロジスティクスの物流における省エネ活動につきましては、P43に掲載しております。

■環境法規制値超過、環境事故・苦情

規制値超過・事故・苦情にはすみやかに対応

環境法規制値超過につきましては、(株)イチタンで騒音関係で2件発生しました。騒音発生設備の交換および騒音発生源設備建屋の扉閉めの徹底により2件とも改善を図りました。

環境事故につきましては、輸送機工業(株)で構内含油排水流出の事故が1件発生しました。すみやかに対策をとり手順書の改訂を行い再発防止を図りました。

苦情につきましては、(株)イチタンで大気関係が1件発生しました。粉じん発生設備のフィルターを交換して対策を図り、再発防止のため、手順書を改訂して交換時期を明確にしました。

■ISO14001認証の返上について

一体化した環境マネジメントシステム活動をスタート

輸送機工業(株)では2006年8月25日に認証機関(テュフ・ライランド・ジャパン)に対し、ISO14001の認証書を返上しました。これは当社宇都宮製作所の環境マネジメントシステム活動の一員に加わるための処置であり、2006年10月からは、2007年7月に行われる宇都宮製作所のISO14001更新審査の際に範囲の拡大という形で、受審するための準備を進めています。

■社会貢献活動など

各社ともに独自の社会貢献活動を実施



2006年12月(株)スバルロジスティクスが関係会社の協力により交通遺児助け合い金約47万円を寄贈。写真は太田市清水市長(写真左)にお渡しするスバルロジスティクス・中原社長(当時)。



桐生工業(株)では、毎年恒例の工場周辺および学童通学路の清掃をしました。(6月)



(株)スバルロジスティクスでは毎週1回、工場外周の清掃を実施しています。

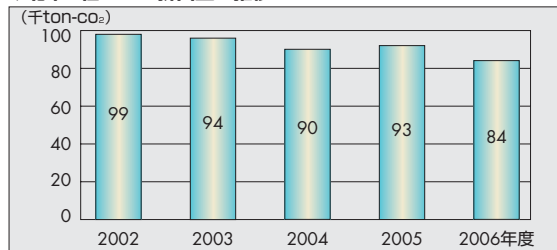
海外関係会社の活動

北米環境委員会5社^{※1} (SIA、SOA、RMI、SCI、SRD)の活動をご紹介します。^{※2}

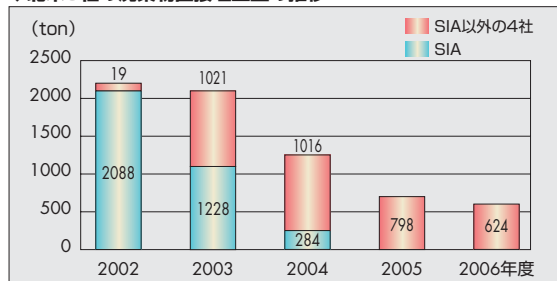
SIAの取り組みについては特集P15・16をご参照ください。

北米5社の環境負荷(CO₂排出量と廃棄物埋立量)^{※3}

◆北米5社のCO₂排出量の推移



◆北米5社の廃棄物直接埋立量の推移



■地球温暖化防止の取り組み

専用トラック配送でCO₂排出量を削減

カナダのサブアル車販売会社であるSCIでは夜間の「専用配送サービス」を開始しました。SCIの倉庫から各ディーラーまでの

部品配送を夜間に専用トラックで行うものです。専用便でディーラーへ直接配送するため経路が短縮され、また夜間に配送することで渋滞を避けることができ、CO₂排出量を削減できました。

また、専用配送用容器の反復使用により梱包材が削減できました。



専用配送サービスのトラック

■廃棄物削減の取り組み

デザインモデルの再利用でリサイクル量を削減

北米におけるサブアル車の開発拠点であるSRDでは、開発車のリサーチクリニックに使用したデザインモデルの再利用に取り組み、金属・木材100%、樹脂フォーム35%を再利用し、リサイクル量を約1,200kg削減しました。廃棄する樹脂フォームについては85%をリサイクルしました。このリユースにより新規樹脂フォー

ムの使用量を65%に削減できました。

ロビンエンジンの北米生産拠点であるRMIではノックダウン部品の出荷箱を返却可能なパレットへ置き換えています。現在の置き換え状況は65%ですが、今後すべてのパレットの置き換えを進めていきます。



SRDが再利用するデザインモデル。

■社会貢献活動

それぞれの地域で社会貢献活動を展開

米国のサブアル車販売会社であるSOAは地域で長く美術のスポンサーを務めてきました。今回、ニュージャージー州コリンズウッドのパーキンズ美術センターの建て替えにあたり寄付金を提供しました。この建て替えは環境に配慮した「グリーンな」美術館を目指すもので、ソーラーパネルや雨水のリサイクルシステムを備え、さらに自然光のメリットを最大限に活かす建物とすることが計画されています。



SOAが支援するパーキンズ美術センター。



RMIが購入支援したレンジャーユーティリティ車。

RMIは地元ウィスコンシン州のスプリングバレー市の自衛消防隊が緊急対応仕様のポラリス社製レンジャーユーティリティ車を購入するにあたり、特別価格で購入できるようにメーカーに働きかけ、同市を支援することができました。

2006年度 環境会計集計結果

国内および海外関係会社の環境会計集計結果につきましてはwebデータ編P12・13をご参照ください。

※1 SIA=Subaru of Indiana Automotive, Inc.; SOA=Subaru of America, Inc.; RMI=Robin Manufacturing U.S.A., Inc.; SCI=Subaru Canada, Inc.; SRD=Subaru Research & development, Inc.

※2 北米環境委員会各社の取り組みの詳細(英文のみ)はWebサイト <http://www.subaru-earth.com/staging/> でご覧になれます。

※3 2002年度については次の各社ではデータを把握していなかったため実績に含まれていません。「CO₂排出量: SOA、SCI」「廃棄物埋立量: SOA、SCI、RMI」